

留学育英生からのたより

日本在住

第17回育英生 鄭 貴霞氏（台湾）

理事長 黒田武志殿

この度、成寿山善光寺開山樸庵白純大和尚の齋会と育英僧の辞令伝達式に参加できまして、また奨学金を頂くことができましたことを厚くお礼申し上げます。

4年前、私は関西に飛行場があるのも知らずに成田飛行場から夜行バスで高野山に行きました。2年前京都に来てからも、また京都から出たことがなく、毎日図書館と研究室にばかりおりました。それで外界との接触が薄らいでいたと思います。横浜に行くことが決まったとき、新幹線は高いと思い夜行バスを選んだのですが、残っていたのは後方の席で、7時間も揺られてようやく横浜に着くという難行の旅になりました。幸い一日早く着いたので、上大岡の旅館で17時間休んでから善光寺様にお伺い致しました。その前に角の石材店で黒田理事長一行の中国訪問や、理事長の若き日のご苦勞を書いた本を読ませて頂きまして、初めて善光寺についてのことが少し分かったのです。

僅か5時間の滞在でしたが、釈迦堂での儀式の最高の荘厳さに感動致しました。皆様のスピーチの通り、理事長殿の細かい心遣いが私にひしひしと感じられました。それは私の周りに私と親しい人達を配置致して下さったことです。特に知らないお方からの暖かいお言葉、「身体を大事に」は、日本へ来て初めて出会った利他の行動に思えました。私はあの時善光寺に和気が溢れて、平和そのものである皆様に祝福するとともに、その和気に触れて私も深い感銘を得ました。

ところで皆様は駒澤大学のグループと思います。4年前私がアメリカを離れる時にサンフランシスコのミルブレイで、東京の片岡佑介氏に逢いました。彼は駒澤に入りなさいと勧めて下さいましたが、その時私は密教を勉強するつもりで手続きをしたので、高野山に行ったのです。授業料を払ってから別科は進学できないと知りました。それで片岡氏に電話をして事情を話し駒澤大学の入試資料と3年の試験問題を送ってもらいましたが、駒澤の試験は早期なので試験準備の時間がないことさえ伝えずに、私は1ヶ月後試験の花園大学を選択したのです。これが眼に見えない縁でありましょう。今日また駒澤の皆様のお世話になってそう思いました。なんだか奇妙な感じが致します。

日本に来て4年になりますが、前述のとおり研究室にいて日本の習慣や礼節に対して特に気を付けてこなかったのが、粗相や、また非常識なことがあったと思います。どうか悪しからずお許し下さい。

最後に最高の敬意を表して、善光寺様の今後の御発展を祈念致します。

謹呈 合掌

2001年 2月12日

